

令和3年3月23日

特定商取引法違反の訪問販売業者1社に対する業務停止命令（24か月）及び指示、当該業者の役員2名に対する業務禁止命令（24か月）並びに同訪問販売業者1社に対する業務停止命令（24か月）について

- 消費者庁は、平成30年12月にWILL株式会社（以下「ウィル」といいます。）に対し、また、令和元年7月にウィル及び株式会社レセプション（以下「レセプション」といいます。）等のウィルの関連会社7法人（以下併せて「ウィルら」といいます。）に対して、これらの事業者が特定商取引に関する法律（以下「特定商取引法」といいます。）に違反する行為をしていたことから、行政処分を行ったところです。

※ウィルらは、「PRPシステム」（現「CCPシステム」）と称する、IP電話機能、カラオケ、ゲームなど複数種類のアプリケーションが読み込まれたとされる「ライセンスパック」と称するカード型USBメモリ（以下「本件商品」といいます。）を、これを購入した相手方から賃借した上で本件商品に読み込まれたアプリケーションを第三者の利用に供する事業に供し、かかる事業により得られた収益から本件商品の賃借料を支払うとされる役務を有償で提供する事業を行っていたもの。

- 今般、ウィルらの事業の承継会社であるVISION株式会社（以下「ビジョン」といいます。）に対して、レセプションと連携共同して特定商取引法第6条第1項の規定に違反して不実のことを告げる行為をしていることから、特定商取引法第8条第1項の規定に基づき、令和3年3月21日から令和5年3月20日までの24か月間、訪問販売に関する業務の一部（勧誘、申込受付及び契約締結）を停止するよう命じる（以下「ビジョンに対する本件業務停止命令」といいます。）とともに、ビジョンと契約を締結した相手方に不実告知の内容等を通知することを指示しました。
- また、レセプションに対しても、ビジョンと連携共同して特定商取引法第6条第1項の規定に違反して不実のことを告げる行為をしていることから、特定商取引法第8条第1項の規定に基づき、令和3年3月22日から令和5年3月21日までの24か月間、訪問販売に関する業務の一部（勧誘、申込受付及び契約締結）を停止するよう命じました。
- 加えて、消費者庁は、ビジョンの「会長」と呼称されている大倉満及び同社の「事務局長」などと呼称されている赤崎達臣に対し、特定商取引法第8

条の2第1項の規定に基づき、令和3年3月22日から令和5年3月20日までの24か月間、ビジョンに対する本件業務停止命令により業務の停止を命ずる範囲の訪問販売に係る業務を新たに開始すること（当該業務を営む法人の当該業務を担当する役員となることを含みます。）の禁止を命じました。

- なお、特定商取引法第9条の3では、役務提供事業者が勧誘時に特定商取引法第6条第1項の規定に違反して不実のことを告げる行為をしたことにより、訪問販売に係る役務提供契約の申込み又は締結をした者が、当該告げられた内容が事実であるとの誤認をし、それによって当該役務提供契約の申込み又はその承諾の意思表示をしたときは、これを取り消すことができるという制度を設けています。

ビジョン及びレセプションとの取引等についてご相談のある消費者におかれましては、消費者ホットライン（局番なし188）その他の消費生活相談窓口までご相談ください。

※本件の勧誘手口の詳細については、別紙1及び2の「5 勧誘事例」を参照。

1 処分対象事業者

(1) ビジョン

ア 名称：VISION株式会社

(法人番号：1011101087825)

イ 代表者：代表取締役 新聞 壽（しんま ひさし）

ウ 本店所在地：東京都新宿区弁天町1番地

エ 資本金：300万円

オ 設立：令和元年5月21日

カ 取引類型：訪問販売

(2) レセプション

ア 名称：株式会社レセプション

(法人番号：7010701030916)

イ 代表者：代表取締役 大倉 満（おおくら みつる）

ウ 本店所在地：三重県伊賀市四十九町1807-1

エ 資本金：800万円

オ 設立：平成27年5月28日

カ 取引類型：訪問販売

2 ビジョン及びレセプションの特定商取引法の規定に違反する行為

(1) 役務の内容についての不実告知（特定商取引法第6条第1項第1号）

(2) 役務の提供を受ける者の判断に影響を及ぼすこととなる重要なものについての不実告知（特定商取引法第6条第1項第7号）

3 消費者庁がした各行政処分の詳細は以下の各別紙のとおりです。

別紙1：ビジョンに対する本件業務停止命令及び指示

別紙2：レセプションに対する本件業務停止命令

別紙3：大倉満に対する業務禁止命令

別紙4：赤崎達臣に対する業務禁止命令

4 本件に関連して消費者庁がこれまでに行った特定商取引法に基づく行政処分又は消費者安全法に基づく注意喚起は以下のとおりです。

(1) 行政処分

ア 平成30年12月21日付け公表（連鎖販売取引について）

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_transaction/release/2018/pdf/release_181221_0002.pdf

(ア) 取引等停止命令（15か月）及び指示

ウィル（本社：東京都渋谷区、代表取締役（当時）：中井良昇）

(イ) 業務禁止命令（15か月）

ウィルの役員6名（大倉満、中井良昇、本田欽也、小池勝、小林京子、赤崎達臣）

イ 令和元年7月22日付け公表（下記（ア））及び同年8月6日付け公表（下記（イ））（訪問販売について）

https://www.caa.go.jp/notice/assets/release_190722_0001.pdf

https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_transaction_cms203_190806_01.pdf.pdf

(ア) 業務停止命令及び指示

① 業務停止期間：24か月

ウィル（本社：東京都渋谷区、代表取締役（当時）：中井良昇）

② 業務停止期間：18か月

株式会社LINK（本社：東京都渋谷区、代表取締役：中井良昇）
レセプション

ホームセキュリティー株式会社（本社：東京都足立区、代表取締役：
小池勝）

株式会社テレメディカル（本社：三重県伊賀市、代表取締役：嶋上文子）

株式会社AR（本社：兵庫県宍粟市、代表取締役：杉尾香代子）

株式会社トータル72（本社：香川県高松市、代表取締役：松本哲）
株式会社ピーアールピー（本社：宮崎県宮崎市、代表取締役：赤崎達臣）

（イ）業務禁止命令

- ① 業務禁止期間：24か月
ウィルの役員2名（大倉満、中井良昇）
- ② 業務禁止期間：18か月
小池勝（ホームセキュリティー株式会社の役員）
嶋上文子（株式会社テレメディカルの役員）
杉尾香代子（株式会社ARの役員）
松本哲（株式会社トータル72の役員）
赤崎達臣（株式会社ピーアールピーの役員）

（2）注意喚起

ア 令和元年7月22日付け公表

株式会社ワールドイノベーションラブオール名義で行われる「PRPシステム」と称する役務の訪問販売に関する注意喚起

https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_policy_release_190722_0001.pdf

イ 令和元年11月8日付け公表

ビジョン名義で行われる「PRPシステム」と称する役務の訪問販売に関する注意喚起

https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_policy_cms103_191108_1.pdf

【本件に関するお問合せ】

本件に関するお問合せにつきましては、消費者庁から権限委任を受けて消費者庁と共に特定商取引法を担当している経済産業局の消費者相談室で承ります。お近くの経済産業局まで御連絡ください。

なお、本件に係る消費者と事業者間の個別トラブルにつきましては、お話を伺った上で、他機関の紹介などのアドバイスは行いますが、あっせん・仲介を行うことはできませんので、あらかじめ御了承ください。

北海道経済産業局消費者相談室	電話	011-709-1785
東北経済産業局消費者相談室		022-261-3011
関東経済産業局消費者相談室		048-601-1239
中部経済産業局消費者相談室		052-951-2836
近畿経済産業局消費者相談室		06-6966-6028
中国経済産業局消費者相談室		082-224-5673
四国経済産業局消費者相談室		087-811-8527
九州経済産業局消費者相談室		092-482-5458
沖縄総合事務局経済産業部消費者相談室		098-862-4373

- 消費者ホットライン（全国統一番号） 188（局番なし）
身近な消費生活相談窓口を御案内します。
※一部のIP電話、プリペイド式携帯電話からは御利用いただけません。
- 最寄りの消費生活センターを検索する。
<http://www.kokusen.go.jp/map/index.html>

VISION株式会社に対する行政処分の概要

1 事業概要

VISION株式会社(以下「ビジョン」という。)は、株式会社レセプション(以下「レセプション」という。)と連携共同して、「CCPシステム」と称する、IP電話機能、カラオケ、ゲームなど複数種類のアプリケーションが読み込まれたとされる「ライセンスパック」と称するカード型USBメモリ(以下「本件商品」という。)を、これを購入した相手方から賃借した上でこれに読み込まれたアプリケーションを第三者の利用に供する事業(以下「本件商品の運用事業」という。)に供し、かかる事業により得られた収益から本件商品の購入代金相当額を上回る本件商品の賃借料を3年間にわたり36回に分けて当該相手方に支払うとされる役務(以下当該「CCPシステム」と称するシステム全体を「本件役務」という。)を有償で提供する事業を行っている。

ビジョンは、少なくとも平成30年12月頃までは、本件商品を、それを購入した相手方から賃借した上で、本件商品からアプリケーションをインストールしたとされる「willfon」と称するテレビ電話(以下「ウィルフォン」という。)をホテル等に貸し出す賃貸事業(以下「ウィルフォン賃貸事業」という。)に供し、かかる事業により得られた収益から本件商品の購入代金相当額を上回る本件商品の賃借料を3年間にわたり36回に分けて当該相手方に支払うという事業を特定商取引に関する法律(以下「特定商取引法」という。)第33条第1項に規定する連鎖販売取引により行い、その後、遅くとも平成31年1月以降は、本件役務を提供する事業を特定商取引法第2条第1項に規定する訪問販売(以下「訪問販売」という。)により行っていたWILL株式会社(代表取締役中島忠相)(以下「ウィル」という。)、並びに、平成31年3月以降、ウィルの統率の下、ウィルと連携共同して本件役務を提供する事業を訪問販売により行っていたレセプション、株式会社LINK(代表取締役中井良昇)、ホームセキュリティー株式会社(代表取締役小池勝)、株式会社テレメディカル(代表取締役嶋上文子)、株式会社AR(代表取締役杉尾香代子)、株式会社トータル72(代表取締役松本哲)及び株式会社ピーアールピー(代表取締役赤崎達臣)(以下、これらの7法人を併せて「ウィルの関連法人」という。また、ウィル及びウィルの関連法人を併せて「ウィルら」という。)から本件役務を提供する事業を承継して当該事業を行っている。

ビジョンは、レセプションと連携共同して、ホテルのセミナー会場等のビジョン及びレセプションの営業所等以外の場所において、本件役務を有償で提供する契約（以下「本件役務提供契約」という。）の申込みを受け、又は本件役務提供契約を締結していることから、このようなビジョンがレセプションと連携共同して行う本件役務の提供は、訪問販売に該当する。

2 処分の内容

(1) 業務停止命令

ビジョンは、令和3年3月21日から令和5年3月20日までの間、訪問販売に関する業務のうち、次の業務を停止すること。

ア ビジョンが行う訪問販売に関する役務提供契約の締結について勧誘すること。

イ ビジョンが行う訪問販売に関する役務提供契約の申込みを受けること。

ウ ビジョンが行う訪問販売に関する役務提供契約を締結すること。

(2) 指示

ア 令和元年7月20日から令和3年3月20日までの間にビジョンとの間で本件役務提供契約を締結した全ての相手方（以下「契約の相手方」という。）に対し、以下の事項を、消費者庁のウェブサイト（<https://www.caa.go.jp/>）に掲載される、ビジョンに対して前記（1）の業務停止命令及び本指示をした旨を公表する公表資料を添付して、令和3年4月20日までに文書により通知し、同日までにその通知結果について消費者庁長官宛てに文書（通知したことを証明するに足る証票及び通知書面を添付すること。）により報告すること。なお、令和3年3月29日までに、契約の相手方に発送する予定の通知文書の記載内容及び同封書類一式をあらかじめ消費者庁長官宛てに文書により報告し承認を得ること。

(ア) 前記（1）の業務停止命令の内容

(イ) 本指示の内容

(ウ) 下記4（1）及び（2）の各違反行為の内容

イ 令和元年度から令和2年度までの会計年度ごとの以下の事項を含むビジョンの業務状況について、令和3年3月29日までに消費者庁長官宛てに文書により報告し承認を得た上で、令和3年4月20日までに前記アと同一の契約の相手方に対して文書により通知すること。

(ア) ビジョンが販売した本件商品の個数

(イ) ビジョンが賃借した本件商品の個数

- (ウ) ビジョンが受け取った本件商品の売上収入の総額
- (エ) ビジョンが支払った本件商品の賃借料の総額
- (オ) ビジョンが本件商品の運用事業により得た収益の総額

3 処分の根拠となる法令の条項

特定商取引法第7条第1項及び第8条第1項

4 処分の原因となる事実

消費者庁は、ビジョンにおいて、以下のとおり、レセプションと連携共同して、特定商取引法に違反する行為をしており、訪問販売に係る取引の公正及び役務の提供を受ける者の利益が著しく害されるおそれがあると認定した。

(1) 役務の内容についての不実告知（特定商取引法第6条第1項第1号）

ビジョンは、遅くとも令和2年6月以降、レセプションと連携共同して訪問販売に係る本件役務提供契約の締結について勧誘をするに際し、実際には、本件役務を提供する事業をビジョンに継承したビジョンの前身であるウィルは、少なくとも平成27年10月1日から令和元年6月6日までの間、いずれの会計年度においても、その総売上高の約99パーセントを本件商品の販売による売上げが占め、また、ウィルと連携共同して本件役務を提供する事業を行っていたウィルの関連法人は、平成31年3月から令和元年6月6日までの間、本件商品の販売に係る営業業務を行っており、本件商品の運用事業を行っていた事実はないため、ウィルらは、本件商品の賃借料のほとんど全てを本件商品の売上収入から支払っており、ウィルフォン賃貸事業や本件商品の運用事業により得られた収益から本件商品の賃借料を支払っていた事実はないにもかかわらず、「7年前、私どもがこのビジネスをやったときに、最初は機械だったの。…ウィルフォンっていう機械を最初作りまして、この機械を作ると同時に、この機械の画面に、色んなサービス、ソフトっていうものを開発して、そのソフトをこの中に入れて、海外のお客様が、この機械ごと、だいたい35ドル前後で、この機械を借りていただいて…借りていただいた方が払ってくれる35ドル、4000円のお金から、2500円のレンタルフィーを日本の皆様方に払うっていうのが、もともと作ったシステムだったんです。…14か国の店を出したんです。これ、ずーっと順調にいつてて。」「過去行ってきた事業がしっかりとした事業をやっている、かつ、事業ですから、売上と利益がしっかり上がってくる事業を続けた結果、その会社の売上の中の利益が、皆さんのもとに利益としてもたらされていくから、過去7年間関わった人全

ての方が利益を獲得できている。」、「(注：ウィルフォンの) 使用料を払っていただいた、1台分3500円の中から、創業当初は、購入いただく商品はライセンスパックではなく、テレビ電話そのものを購入いただいていたわけですから、1セット8台、1台あたり2500円を使用料として我々の会社に入ってくる売上の中から、お支払いをしても、我々の会社にはまだ利益が残ります。受け取る皆さんは利益になります。こんな仕組みから事業を、こつこつこつこつやってきました。」、「世界中の方が、プレイストアから全てのアプリをインストールして使ってくれた。この売上げが、当初のテレビ電話の売上を、はるか超えて、どんどんどんどん上がった。これが、今まで皆さま方に払ったレンタルフィーのこれが、もともとの売上原資になったんです。」などと、あたかも、ビジョン又はビジョンの前身である事業者らにおいて、過去7年間にわたって、継続的にウィルフォン賃貸事業又は本件商品の運用事業により収益を上げ、かかる収益から本件商品の賃借料が支払われていることから、今後、ビジョンとの間で本件役務提供契約を締結した消費者に対しても、本件商品の運用事業による収益から本件商品の賃借料が継続的に支払われるかのように告げている。

(2) 役務の提供を受ける者の判断に影響を及ぼすこととなる重要なものについての不実告知(特定商取引法第6条第1項第7号)

ビジョンは、遅くとも令和2年6月以降、レセプションと連携共同して訪問販売に係る本件役務提供契約について勧誘をするに際し、実際には、①ビジョンが提供する「コロナ感染者追跡アプリ」が、世界保健機関(以下「WHO」という。)が主催し、アフリカ各国の保健大臣及びWHOの「アフリカコロナ対策委員会委員長」が出席して行われたアフリカ全体の新型コロナウイルス感染症対策を検討する会議において、アフリカ全体で正式に採用された事実はなく、②インターネット通信販売アプリを作っほしいというリベリア政府からの依頼により、当該通信販売アプリでの支払に使うことができる「ヴィカシーコイン」と称する暗号資産(仮想通貨)と法定通貨とを交換する交換所をリベリアに開設し、当該暗号資産を使用して買物ができる、アフリカ西海岸において利用できるものとしては初のインターネット通信販売アプリを作った事実はなく、③ビジョンが提供するビヨンドアイについて、同アプリで再生される動画出演に係る専属契約を芸能人との間で締結した事実及びビヨンドアイで再生される動画にスターバックス社が広告を掲載して広告料を支払っている事実がいずれもなく、④グーグル社は、ビジョンが完成させたとする「Wストア」と称するスマートフォン向けのアプリケーションのプラットフォームについて、グーグ

ル社が「Wストア」の運営者に対し「Wストア」の利用者1名につき一定額の広告料を支払うというグーグルアドセンス契約についての合意をいかなる相手方ともしている事実はないにもかかわらず、ビジョンの提供するアプリが海外の政府、公的な国際機関、世界的に著名な企業及び日本の著名人からも高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、①の「コロナ感染者追跡アプリ」については、「アフリカの方々が、一切合切、コロナ感染者追跡ができるアプリ、正式に私共の会社から、リベリア政府に納品させていただきました。」「アフリカ中の需要国の保健大臣、政務次官、そういった方が全部集まって、アフリカのコロナ感染者拡大をどうして防ぐかっていう会議が、アフリカ全体のそれぞれの国の保健大臣が集まって、話し合いが行われました。その場所にWHOのアフリカ担当コロナ対策委員会委員長もそこに参加して、WHOが主催した会議が行われました。その会議の4番目と2番目が、私共のアプリをアフリカ全体で、採用したらどうだっていう提案だ。」「私共のアプリが、アフリカ全体で、コロナ感染アプリに正式に採用が決定いたしました。」などと、②のヴィカシーコイン及びインターネット通信販売アプリについては、「アフリカの西海岸に、ネット通販がないんだよ。今、日本政府がいてますよ。なるべく、ネット通販で、買物に行かないで、通販で買えるものは通販でそろえましょう。このコロナの時期、ネット通販すごい売れた。それが、ないんだよ。だからリベリアの大統領が、ネット通販のサイトを作ってほしい」、「ネット通販を作ってくれて、リベリアの大統領が僕に要請なの。」「アフリカの西海岸初の、ネット販売。ショッピングサイトが完成いたしました。」「支払いの仕方は？ヴィカシーコインで販売する。じゃ、ヴィカシーコインをリベリアの人がたが買うための交換所がなければヴィカシーコインが買えないって言ったら、リベリアの大統領が、あ、交換所、わかったわかった、いい。じゃあお前の交換所作ってあげるから。はい、ライセンス持ってこい。はい、はい、はい、作れ。ほんとだよ。それで、リベリアの交換所ができちゃったの。」などと、③のビヨンドアイについては、「Wストアからビヨンドアイっていうアプリをインストールします。そうすると、ビヨンドアイっていうアプリ、ちょっと1回閉じて、閉じて。このビヨンドアイっていうアプリを立ち上げます。…こういう画面みていただいて。このちなみに右側の子、■（注：芸能人のこと）です。…この方（注：言及している当該芸能人のこと）、うちの専属ナレーターとして今契約しております。ね、この全ての浅草編、秋葉原編、全ての雑誌のナレーターは彼女が

やっております。…そこに出ている、様々な内容をうちが撮影して、全て動画で撮っております。それが、様々なページのラウンドアイのマークのところにあてがうと、いろんな店の案内が読まなくても実際動画で見れます。」「32ページ。スターボックスのコマーシャルが出ています。…スターボックスがうちのこの本を出すために、広告料を払ってくれたの。うちは、この本、全て広告費で賄って100万部作ったの。だから、フリーペーパー、自由にお持ち帰りになってくださいっていう本なの。じゃあ、100万人の人が、この本を持ち帰った時に、ビヨンドアイのアプリがインストールできるようになっています。この画面から。…この本に出ている全ての広告、全ての記事、かざすと動画が流れるんです。」などと、④のWストアについては、「うちがAPPストア、プレイストアに続く、3つ目のストアを作りましょう。世界の3つ目のストアを作りましょうって言って、私は立ち上げたのが、Wストアなの。」「2万弱のアプリが、世界中のアプリを作る会社から私共にきています。もうWストア、完成している。これが、世界3つ目のストアになるんです。」「グーグルアドセンスの契約は、グーグルと話は全て決まっております。どういう契約か？うちで、Wストアをインストールしてくれた方。一人に対して、200円の広告料を毎月くれるんです。ここにいる方、100万人の方々が、Wストアを入れてくれると、その方の携帯に入っているアプリ、要は、ストアのアプリが12万種類あります。使う使わない別として、インストールしてくれれば、インストールしてくれた方の数と、一人に200円分、100万人いたら2億円。そのお金を毎月広告費として、グーグルアドセンスそれを運営している責任会社に振り込みますっていう、グーグルとの内容、全てできてます。」などと、あたかも、前記①から④までの各事実があるかのように告げている。

5 勧誘事例

【事例1】（役務の内容及び役務の提供を受ける者の判断に影響を及ぼすこととなる重要なものについての不実告知）

ビジョンは、レセプションと連携共同して、令和2年6月、広島県に所在するホテルにおいてセミナーを開催したところ、当該セミナーにおいて、当該セミナーの参加者に対し、司会者からSHK事務局の局長と紹介された赤崎達臣が「SHKビジネスをプレオープンするということで、会を設けさせていただきますが、このコロナの時期でも、やっぱり伸びてる業界があるし、伸びてる会社もございます。」「この通話ツール。これ見ていただきますと、皆さま方ご存知だと思いますが、弊社はもともとテレビ電話を扱ってた会社で

す。」「弊社に関しましては、他企業に比べまして1歩も2歩も、この通話ツールに関しましては、進んでいる状態で」、「続きましてちょっと見ていただきますので、遠隔医療、遠隔医療に関しましても、ご存知の方も多いと思います。今、遠隔医療が非常に注目を浴びておりますが、弊社の大倉会長に関しましては、4年前から、4年半くらい前からですね、これからは遠隔医療の時代が来るということを見越しまして、様々な準備をしてまいりました。」「次、オンライン教育ですね。」「大倉会長、4年半前から準備を進め、相互関係ができるようなオンライン授業、遠隔授業の仕組みも完成しております。」「会長のほうから後でお話があるかもしれませんが、アフリカのほうで、そういう仕組みを使いたいということで、アフリカの政府の方からの要望がきております。」「このSHKビジネスに関しましては、通信技術を駆使しましてね、会長のほうから後ほどお話があると思いますが、今、申し上げた全てのサービスは、現実として、今、弊社では、もう進んでおります。」「一番重大なことってというのは、この時代だからこそ、ピンチをチャンスに変えて、そして、伸びていく業界、伸びていく産業に縁があるっていうことが、素晴らしいチャンスになっていくんじゃないかと思っております。分かるか分からないかは、皆さま方のセンス次第です。」などと、ビジョン及びビジョンの会長と呼称されている大倉満（以下「大倉」という。）が大きな収益を上げることができる事業を行ってきたこと及び大倉が優れた経営者である旨を告げた上で、大倉が、「7年前、私どもがこのビジネスをやったときに、最初は機械だったの。機械をレンタルするっていう仕事だったんです。」「このウィルフォンっていう機械を最初作りまして、この機械を作ると同時に、この機械の画面に、色んなサービス、ソフトっていうものを開発して、そのソフトをこの中に入れて、海外のお客様が、この機械ごと、だいたい35ドル前後で、この機械を借りていただいて、…ここにあるサービスがここでも使えるし、テレビでも使える。じゃ、どんなサービス、どんなソフトかっていうと、さっきの、一番最初に作ったのが、こん中に入れるカラオケのソフトなの。カラオケって言うても、うちは世界中のカラオケを、30万曲持ってます。」「これを35ドル前後、日本円で3800円から4000円の金額で、海外の方に貸して、借りていただいた方が払ってくれる35ドル、4000円のお金から、2500円のレンタルフィーを日本の皆様方に払うっていうのが、もともと作ったシステムだったんです。それ自体は、何ら問題なく、海外でどんどんどんどん進行して、どんどんどんどんお客さんも増えたんで、世界14か国にそれぞれ店をだして、その店に、お客さんにご来店いただいて、うちの機械を借りてってもらってサービスを使ってもらう。」「それぞれの方に、クレジットカードとか、そういったシステムをもって、月々払ってもらうっていうために、14か国の店を

出したんです。これ、ずーっと順調にあって、「4年半前に、機械を貸すっていうシステムを、ちょっとずつ減らしていったの。なんでかっていうと、スマートフォンの普及がきっかけなんです。」「スマートフォンの中で使えるアプリに切り替えようっていうことで、4年半前にアプリに切り替えた。それが功を奏して、今回のコロナの騒ぎのときに、うちは全く影響受けなかった。」「そうやって、アプリに切り替えた。それから色んなアプリを作った。そしてそのアプリも人気あるアプリっていうのは、世界規模でみると、結構な需要になります。どんどんどんどん作ったアプリを、APPストアっていうストア、ね、プレイストアっていうストア、要は、アプリを売っているストアに登録するわけ。そしてちょっと面白いアプリだと、プレスリリースをして宣伝すると、そのアプリを使う人がガーンと増えるわけ。これはいいな、と思って。ずーっと商売やってたの」などと、あたかも、ビジョン又はビジョンの前身の会社において、過去7年間にわたって、継続的にウィルフォン賃貸事業又は本件商品の運用事業により収益を上げ、かかる収益から本件商品の賃借料が支払われていることから、今後、ビジョンとの間で本件役務提供契約を締結した消費者に対しても、本件商品の運用事業による収益から本件商品の賃借料が継続的に支払われるかのように告げた。

さらに、大倉は、当該セミナーの参加者に対し、ビジョンが提供するアプリが海外の政府から高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、「パンデミックの間、地元市場で買物をしないで、なるべく安全に買物をしてほしい。それが何か。ネット通販なんだよ。ネット通販。ところが、さっき言いましたね。アフリカ人は通帳持ってないの。クレジットカード持ってないの。皆さん、ネット通販でものを買おうと思って、クレジットカード持ってない人どうやって買うの？代引きで買うの？アフリカ西海岸」、「代引きっていう制度がないの、そんなもの。届けにいつ金払ってもらえるかわかんないものを、届けに行くバカはいないの。だから、アフリカの西海岸に、ネット通販がないんだよ。今、日本政府がいてますよ。なるべく、ネット通販で、買物に行かないで、通販で買えるものは通販でそろえましょう。このコロナの時期、ネット通販すごい売れた。それが、ないんだよ。だからリベリアの大統領が、ネット通販のサイトを作ってほしい。はい、次、始めましょう。はい、じゃあマーケット。有名なマーケット。」「はい、ここ押して。」「こうやって、いいですか、ネット通販を作ってくれて、リベリアの大統領が僕に要請なの。じゃあね、支払いの仕方は？ヴィカシーコインで販売する。じゃ、ヴィカシーコインをリベリアの人がたが買うための交換所がなければヴィカシーコイン

が買えない。って言ったら、リベリアの大統領が、あ、交換所、わかったわかった、いい。じゃあお前の交換所作ってあげるから。はい、ライセンス持ってこい。はい、はい、はい、作れ。(笑)ほんとだよ。それで、リベリアの交換所ができちゃったの。だから、その交換所にリベリアの人が来て、はい、ヴィカシーくださいって言って、1万円ヴィカシー買えるんだよ。そうすると、ほしい、魚、肉、野菜、ヴィカシーで支払いします。ぽちってやると、確かに入金あって、お金の支払い完了するの。そうすると、肉だ、魚だ野菜が、届けてくれる。西アフリカの、アフリカの西海岸初の、ネット販売。ショッピングサイトが完成いたしました。」「これ、Wストアにしか入ってないの。だから買物したいアフリカ人は、絶対、Wストアをインストールするの。」「全くネット通販ない、アフリカっていう市場は、うちが全部取ります。」などと、あたかも、インターネット通信販売アプリを作ってほしいというリベリア政府からの依頼により、当該通信販売アプリでの支払に使うことができる「ヴィカシーコイン」と称する暗号資産(仮想通貨)と法定通貨とを交換する交換所をリベリアに開設したかのように告げ、また、当該暗号資産を使用して買物ができる、アフリカ西海岸において利用できるものとしては初のインターネット通信販売アプリを作ったかのように告げた。

また、大倉は、ビジョンが提供するアプリが世界的に著名な企業及び日本の著名人から高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、「AR、拡張現実って言います。そこにはないんだけど、あるように見えるもの。そこにはないんだけど、実際にみるとあるように、現実のものと思う。それが拡張現実って言います。」「これから皆さんに、世界初、ARの私共の冊子、お配りします。はい、お配りして。」「うちが、世界で100万部、印刷しております。英語圏の国には英語をお配りします。フランス語圏の国はフランス語、ドイツにはドイツ語。ブラジルではポルトガル語。そういった国の言語で、全て印刷して、総数100万部。それは何かって言うと、東京オリンピックにくる海外の方々に、日本の名所を案内する雑誌。これ、ただ読む分には普通の雑誌なんです。」「そのアプリ、うち、実は古くからずっと研究していて、ARに関してのみ言えば、おそらく日本でうちに太刀打ちできる企業はいません。」「ビヨンドアイって言います。そして、皆さんの本の22ページをお開きください。22ページ御覧ください。アメリカ人になったつもりで22ページ御覧ください。」「Wストアからビヨンドアイっていうアプリをインストールします。そうすると、ビヨンドアイっていうアプリ、ちょっと1回閉じて、閉じて。このビヨンドアイっていうアプリを立ち上げます。」などと告げてビジョン

ドアイのシステムを説明した上で、「このカメラで22ページ目のその、メロンパンのページ、それにビヨンドアイのマークがあります。ビヨンドアイのマークのある写真」、「はい、映してみて。」、「(注：実際にその場で再生された動画の音声が始まる。)」『ここは何が有名ですか？メロンパン』…『big size…』、『じゃ、二つお願いします、いやーおいしそう』、『ありがとうございます 初めてですか』、『yes』、(注：動画の再生終わり。)

はい、ストップ。…このちなみに右側の子(注：再生された動画の映像で右側に映っていることを言うもの。)、■(注：芸能人のこと)です。…この方(注：言及している当該芸能人のこと)、うちの専属ナレーターとして今契約しております。ね、この全ての浅草編、秋葉原編、全ての雑誌のナレーターは彼女がやっております。」、「要するに、そこに出ている、様々な内容をうちが撮影して、全て動画で撮っております。それが、様々なページのラウンドアイのマークのところにあてがうと、いろんな店の案内が読まなくても実際動画で見れます。そのメロンパンの写真をどれだけみるよりも食べているのを見るのが、一番日本にいったら食べてみたいと思います。分かります？これを拡張現実っていうの。」、「(注：配布した雑誌の)32ページ。スターバックスのコマercialが出ています。こうやって見て、スターバックス飲みたいなって思うこともあります。ただ、スターバックス、アメリカではテレビのコマercialやってます。」、「これ、スターバックスがうちのこの本を出すために、広告料を払ってくれたの。うちは、この本、全て広告費で賄って100万部作ったの。だからフリーペーパー、自由にお持ち帰りになってくださいっていう本なの。じゃあ、100万人の人が、この本を持ち帰った時に、ビヨンドアイのアプリがインストールできるようになっています。この画面から。まず、Wストアをインストールして、ビヨンドアイをインストールする。」、「(注：配布した雑誌の)最初のほうに戻っていただいて、4ページ目を開けてください。そこの左側のところに、今、マジックで消してますけど、そこのQRコードに本来であれば、皆さんの携帯かざすと、CWAストアがインストールされます。そして、もう一回ここに二回目かざすと今のビヨンドアイがインストールできます。それだけの作業で、この本に出ている全ての広告、全ての記事、かざすと動画が流れるんです。これをAR、拡張現実っていうんです。」などと、あたかも、ビヨンドアイで再生される動画出演に係る専属契約を芸能人との間で締結しており、ビヨンドアイで再生される動画にスターバックス社が広告を掲載してビジョンに広告料を支払っているかのように告げた。

また、大倉は、ビジョンが提供するアプリが世界的に著名な企業から高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して

受け続けることができることを強調するため、「うちがAPPストア、プレイストアに続く、3つ目のストアを作りましょう。世界の3つ目のストアを作りましょうって言って、私は立ち上げたのが、Wストアなの。」、「もう、2万弱のアプリが、世界中のアプリを作る会社から私共にきています。もうWストア、完成している。これが、世界3つ目のストアになるんです。」、「僕のセミナーに来ると家帰ってご主人に文句を言われ、息子に反対され、息子の嫁に隠れてこそこそとお金を振り込み、振り込まれたコミッションを、息子に見つからないように、振込明細は他人のところに送り、何とかばれずにばれずにばれずに7年間、私のことを支援してくれた方々、その方々になんかのご恩を報いなきゃだめじゃん。」、「ここに、この7年間うちに関わってきた方々だけを最初にまず入れましょう。入れるにあたっていいかい？年間費なし。権利金なし。年齢差別なし。顔の造作で良し悪し関係なし。一切なく、とにかく今までうちに関わっていただいて、うちに対して功績あげてくださった方々を、ここに優先的に入れましょう。これを、2020年、3月の末尾までを、一定の区切りとしますと。こうなる予定だったわけだ。そしてね、3月31日、終わらせてるわけ、ここを。全て。そして、いよいよ4月から、4月にね、拡散を開始、世界中にWストアをがーっと広げる、それを4月からスタートするっていうことで、僕は、1月に発表しました。2月にも発表しました。着々と準備は進み、3月31日でこれは全部出来上がった。っていうことは3月の23日、韓国に行くはずだった。韓国。そこで、僕と、韓国のリー社長とグーグルの担当者がアメリカから来て、3社間契約を交わすはずだったの。グーグルは、グーグルアドっていう、グーグルの広告システムにうちが参加するっていう契約書なの。それを作るために、ね。3月の23日に会って、そこで調印して、契約書が出来上がった段階で、4月拡散予定だったの。」、「グーグルアドっていうのは、グーグルのもらった広告を、うちのアプリ、Wストアのアプリに載せるの。そうすると、ここのところをはい、開いてぼちっと。これでうちに1円くるの。1円。100人がやると100円くるの。20億人がみんな一回やってくれれば、20億円くるの。だったら暇なやつ」、「そうすると、そうやってやったってことがばれるの。ちゃんとここの広告に興味があって広告開いたひとの分だけ1円くるの。これがね、さっき言った、無料アプリには、全部これがつくの。」、「5月の1日から、この拡散、プレスリリースを発表したところ、僕の予想を超える方々が、CWAストアをインストールしたいって言ってきました。」、「もう、世界各国で、10万まで行ってませんけれど、万の個数の方々が、インストールしてくれるようになりました。」、「そして、コロナが終わって、グーグルアドの契約が完了次第、CWAストアが全て、Wストアに変換します。そして、ここまでの段階で、我々はこれから

先、さっき言った、20億人のWストアの、愛用者づくりに入るんです」、「ここに入ってる人。さっきも言いました、年会費なしだよ。登録費用なしだよ。権利金なしだよ。この7年間私と関わってきてくださった方のお礼としてここに入るの。」、「20億人だから。分かった？5兆円から皆さま方にコミッションが払われます。知らないこいつらにも払われるの。」、「全てこいつらもしらないうちに入ってます。その収入が皆さま方の安心であり、安定であり、それをやるための条件はないんだから。何やらなかったらお金もらえないとかくだらないことはないの。」、「いるだけで、毎月々お金がはいってくる。それも、皆様方が万が一のときには、皆様方のお子さん、子孫の方々に、そのまま引き継がれていくっていう夢のポジションなの。分かります？それをSHKシステムと申します。」、「ぜひとも、このSHK、皆様方にとって非常にメリットがあります。コロナが終わって、本格始動するのを今少し、お待ちください。」などと、あたかも、ビジョンが完成させたとする「Wストア」と称するスマートフォン向けのアプリケーションのプラットフォームについて、グーグル社と「Wストア」の運営者との間でグーグルアドセンス契約を締結し、グーグル社が、当該契約に基づいて、「Wストア」の運営者に対し、「Wストア」の利用者1名につき一定額の広告料を支払う旨の合意が成立しているかのように告げた。

【事例2】（役務の内容及び役務の提供を受ける者の判断に影響を及ぼすこととなる重要なものについての不実告知）

ビジョンは、レセプションと連携共同して、令和2年9月、岡山県に所在するホテルにおいてセミナーを開催したところ、当該セミナーにおいて、当該セミナーの参加者に対し、ビジョンの部長と呼称されている者が、「もしうちの会社が、購入代金のこのお金だけをただ単に回してる会社だったら、購入者全ての方に利益を払う。全く成り立たないと思います。じゃあ、この会社がこの7年間成り立ったのはなぜか、それには秘密があるわけです。どんな秘密か。それが、このメーカーであるワールドイノベーションラブオールという会社が、過去行ってきた事業がしっかりとした事業をやっていて、かつ、事業ですから、売上と利益がしっかり上がってくる事業を続けた結果、その会社の売上の中の利益が、皆さんのもとに利益としてもたらされていくから、過去7年間関わった人全ての方が利益を獲得できている。」、「事業をスタートしたのは2013年です。我々の会社、まずはこんな事業からスタートしました。じゃーん、こちらにあります。ウィルフォンという商品、ここから我々の事業はスタートしたんです。」、「使用料を払っていただいた、1台分3500円の中から、創業当初は、購入いただく商品はライセンスパックではなく、テレビ電

話そのものを購入いただいていたわけですから、1セット8台、1台あたり2500円を使用料として我々の会社に入ってくる売上の中から、お支払いをしても、我々の会社にはまだ利益が残ります。受け取る皆さんは利益になります。こんな仕組みから事業を、こつこつこつこつやってきました。」などと告げ、また、大倉が「CCPシステムに、どんどんどんどん入ってこられる会員さんたちに、安定したレンタルフィーをずっと払い続けるために、例えばサービスのほうを拡充させたりとか、より新しいサービスを作ったりとか、商品作ったりとか、新しい機能を作ったりとか、そういうことをやって、世界中に多くの愛用者を作ることによって、レンタルフィーが安定して払える。そのための様々な開発をしていった過程の中で、新しいビジネスモデルを進めようということになったのが、SHKのビジネスなんです。」、「テレビ電話の機能にホームネットワークを足して、IPテレビを足して、ショッピング、カメラ、カラオケを足しました。」、「世界14か国18拠点の事務所と店舗、ショールーム全部作って、現地法人つくりまして、現地の社員を雇って、現地の顧問弁護士、現地の顧問公認会計士、全部雇って14か国に進出しました。たった2年のうちに、ここ全部進出したの。」、「みんな借りてくれて、日本からどんどんどんどんテレビ電話きても、借りる人が、もう尽きないくらい増えていった。それが最初のね、2年くらいなんです。」、「それまであったテレビ電話、ホームネットワーク、ショッピング、カラオケ、こういった機能をスマートフォンで使えるアプリにしなきゃだめなの。」、「世界中の方が、プレイストアから全てのアプリをインストールして使ってくれた。この売り上げが、当初のテレビ電話の売上を、はるか超えて、どんどんどんどん上がった。これが、今まで皆さま方に払ったレンタルフィーのこれが、もともとの売上原資になったんです。」などと、あたかも、ビジョン又はビジョンの前身の会社において、過去7年間にわたって、継続的にウィルフォン賃貸事業又は本件商品の運用事業により収益を上げ、かかる収益から本件商品の賃借料が支払われていることから、今後、ビジョンとの間で本件役務提供契約を締結した消費者に対しても、本件商品の運用事業による収益から本件商品の賃借料が継続的に支払われるかのように告げた。

さらに、大倉は、当該セミナーの参加者に対し、ビジョンが提供するアプリが公的な国際機関から高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、「保健大臣紹介されて、保健大臣から」、「アフリカでコロナ追跡アプリがほしいって言われて、作ってくれていわれたの。だからさっきのココアってアプリを、徹底的に調べました。徹底的に全部洗いました。そして私共ね、これ

日本の携帯だから日本でまずけど、次、はじめましょう、はい、これ、アフリカ、リベリアの方々が、全部登録することによって、アフリカの方々が、一切合切、コロナ感染者追跡ができるアプリ、正式に私共の会社から、リベリア政府に納品させていただきました。」「今、アフリカのコロナって、最悪の状況になっています。だから、さっきのコロナ感染者追跡アプリをうちが作ったんですけど、」「これらのアプリを使うための会議が行われました。はい、目次、おつきくして。これ、アフリカ中の需要国の保健大臣、政務次官、そういった方が全部集まって、アフリカのコロナ感染者拡大をどうして防ぐかっていう会議が、アフリカ全体のそれぞれの国の保健大臣が集まって、話し合いが行われました。その場所にWHOのアフリカ担当コロナ対策委員会委員長もそこに参加して、WHOが主催した会議が行われました。その会議の4番目と2番目が、私共のアプリをアフリカ全体で、採用したらどうだっていう提案だ。」「これ、そんなとき、使われた資料です。」「こうやって、この資料を現場で説明しました。そんな時の写真があります。これ、この人、WHOのコロナ対策委員会の委員長です。ここに座っているのが、大臣若しくは政務次官です。主要国の。ここで説明してる、ここの画面に映ってるのは、皆様に見てもらった資料です。」「ここで全部説明をして、全部皆さんにご理解いただいて、そして今月の11日、寝てる私の下に、ピロピロピロピロ、ピロピロピロピロメールが飛んできて、何だろうと思って開けてみたら、どん。はい、おつきくして。おつきくになった？メモランダム・オブ・アンダースタンディング。これは覚書っていう意味です。日本語に訳すと。…はい、ミニスターっていうのは、大臣です。これは、大臣が持っている印鑑です。はい、リパブリックオブリベリア。…リベリア共和国の、ミニストリーオブヘルス。保健大臣。正式にね、先ほどの会議を経て、私共のアプリが、アフリカ全体で、コロナ感染アプリに正式に採用が決定いたしました。」「国民が一人、一人アプリをインストールしてくれたら、うちに、1.5ドルはらってもらえますか？1億人になるまで。ああ、いいですよ。それも合意を得ました。」などと、あたかも、ビジョンが提供する「コロナ感染者追跡アプリ」について、WHOが主催しアフリカ各国の保健大臣及びWHOの「アフリカコロナ対策委員会委員長」が出席して行われたアフリカ全体の新型コロナウイルス感染症対策を検討する会議において、アフリカ全体で正式に採用されたかのように告げた。

また、大倉は、ビジョンが提供するアプリが海外の政府から高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、「アフリカのリベリア政府から頼まれた、リベリアで初めてのネット通販アプリ作ってほしいって言われて、はい、次、

はい、次、はじめましょう、ね、フードカテゴリー。魚だ、酒だ、チーズだ、フローズンフーズ、冷凍食品、そういったもの、市場に行かなくても、全部買えるから。市場にくると感染するから来ないでくださいっていう、保健大臣の願いを聞き入れて我々で作ったアプリ。これ自体も、既にリベリア政府に納品してます。」「世界中、銀行口座を持っていない17億人の方々がこれを、使用料を払うためのアプリとして、使用料を払うための手段として、ウォレットにしてみても。エジソンウォレットというウォレットを作りました。そして、アフリカの方々は最初っから、ここにウォレットが入っております。あとは、これを、うち、アフリカに仮想通貨交換所を作ったの。今回、ライセンスを取りました。」「世界中で私共の作ったヴィカシーコインというものが、世界の交換所に行っております。」「自分の国の交換所に自分の持っている現金を持って行って、その分だけヴィカシーコイン下さいって言ったら、携帯電話のアプリの中に、そのコインが入ります。後は、そっから、毎月、このアプリの使用料を払うっていうふうに手続きしてくれれば、我々のほうにはお客さんにはヴィカシーで払われます。それを、私共の交換所で、円に変換します。円に変換したものを皆さま方に払う。この仕組みをうちは、これやるために、仮想通貨すら自らの会社で作って、全ての仕組みが完成いたしました。」などと、あたかも、インターネット通信販売アプリを作ってほしいというリベリア政府からの依頼により、「ヴィカシーコイン」と称する暗号資産（仮想通貨）を使用して買物ができる当該通信販売アプリを作ったかのように告げた。

また、大倉は、ビジョンが提供するアプリが世界的に著名な企業から高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、「プレイストア、APPストアを使わないっていう、新しい形の戦略、これ大事なんです。今まで、テレビ電話に様々な機能を加えた。そしてスマホになった。テレビ電話をやめてスマートフォンのアプリに変えた。今度は、今まで使ってたストアを使わない。じゃあ、どうするのか。全部こっからアプリ抜きました。抜いたアプリどうするのか。これを、Wストアっていうストア、これは私共で作った、うちのストアなんです。」「このストアに、うちが作った12000のアプリと、世界中のアプリを作っている会社で、僕の考え方に呼応してくれた会社のアプリ、全てで12万アプリが入っているストア。これのうち、3年前から構想して、もうできてます。」「世界中の方にWストアをインストールさせるビジネスモデルのことをSHKビジネスって呼びます。それが、今日、皆さんにご説明するビジネスの内容。」「ここに入れるのは（注：「SHKビジネス」や「SHKシステム」などと称するビジネスのメンバーとなること。）、CCPで今ま

でうちに関わってくれた方だけしかここに入れません。CCPの方々が自分の携帯電話に、Wストアをインストールしてくれると、自動的にこの三角形に入ります。なんでか。うちのSHKはCCPの延長線上にできてるから。」「既にCCPの会員となられた方。もしくは、これからCCPの会員として参加される方以外には、ここ（注：「SHKビジネス」や「SHKシステム」などと称するビジネスのメンバーとなること。）に一切、居れません。」「この方々、Wストアをインストールするだけで、一切お金はかかりません。そして、中のアプリケーションを使う必要は一切ございません。ただ、Wストアを入れることによって、ポジショニングが確定するから入れて下さい。あとは、そのストア、触らなくて結構です。触って、なにかアプリが出てきても、何が何だか分からないと思います。だから、インストールしたら、触らずに結構。何も使わずに結構。黙ってお金だけがくるのだけをお待ちになってください。」「グーグルアドセンスの契約は、グーグルと話は全て決まっております。どういう契約か？うちで、Wストアをインストールしてくれた方。一人に対して、200円の広告料を毎月くれるんです。ここにいる方、100万人の方々が、Wストアを入れてくれると、その方の携帯に入っているアプリ、要は、ストアのアプリが12万種類あります。使う使わない別として、インストールしてくれれば、インストールしてくれた方の数と、一人に200円分、100万人いたら2億円。そのお金を毎月広告費として、グーグルアドセンスそれを運営している責任会社に振り込みますっていう、グーグルとの内容、全てできてます。これを、僕が3月19日にアメリカに行って、グーグルの本社で、サインする調印式、そこに行ったら、もう始まったの。ところがコロナが広がったら、僕が渡米できなくなった。向こうの人間も日本に来れなくなった。一切、アメリカとの行き来ができなくて、最近ようやくロサンゼルスに行けるようになったんだけど、今ロサンゼルスに行けるんだけど、行って帰ってくると、2週間隔離。2週間隔離されると、何もできないんだよ。なんで、まだ調印式行っていません。これが、コロナがだんだんだんだん終結の目を帯びてきて、そして我々が自由にアメリカに往復できるようになったら僕が行きます。その予定がたったときが、SHKのグランドオープンの時になるんです。なぜか？ここに入らっしゃる一銭の金も使わない方々の、アプリを使う分のお金は、グーグルが払ってくれるから。だから、皆さま方の仕事は、Wストアをインストールするだけなの。一切のアプリ使わなくてもいいの。うまいことを考えたでしょう。これにね、グーグルが乗ってきたの。」「私はCCPやり続けたから、こんな収入、入ったよ。というのをご主人の墓前に報告してください。分かっていますか？これが、私が計画したSHKビジネスの成功です。あとは、やるやらないは自由。ただ、これをなされたいと思う方が、日本中に非常に増

えています。なんの義務もないですから。なんの義務も。なんの、皆さん方が、お金を払う必要もございません。ぜひともSHKビジネス、スタートするのをお待ちください。」などと、あたかも、ビジョンが完成させたとする「Wストア」と称するスマートフォン向けのアプリケーションのプラットフォームについて、グーグル社と「Wストア」の運営者との間でグーグルアドセンス契約を締結し、グーグル社が、当該契約に基づいて、「Wストア」の運営者に対し、「Wストア」の利用者1名につき一定額の広告料を支払う旨の合意が成立しているかのように告げた。

株式会社レセプションに対する行政処分の概要

1 事業概要

株式会社レセプション（以下「レセプション」という。）は、VISION株式会社（以下「ビジョン」という。）と連携共同して、「CCPシステム」と称する、IP電話機能、カラオケ、ゲームなど複数種類のアプリケーションが読み込まれたとされる「ライセンスパック」と称するカード型USBメモリ（以下「本件商品」という。）を、これを購入した相手方から賃借した上でこれに読み込まれたアプリケーションを第三者の利用に供する事業（以下「本件商品の運用事業」という。）に供し、かかる事業により得られた収益から本件商品の購入代金相当額を上回る本件商品の賃借料を3年間にわたり36回に分けて当該相手方に支払うとされる役務（以下当該「CCPシステム」と称するシステム全体を「本件役務」という。）を有償で提供する事業を行っている。

ビジョンは、少なくとも平成30年12月頃までは、本件商品を、それを購入した相手方から賃借した上で、本件商品からアプリケーションをインストールしたとされる「willfon」と称するテレビ電話（以下「ウィルフォン」という。）をホテル等に貸し出す賃貸事業（以下「ウィルフォン賃貸事業」という。）に供し、かかる事業により得られた収益から本件商品の購入代金相当額を上回る本件商品の賃借料を3年間にわたり36回に分けて当該相手方に支払うという事業を特定商取引に関する法律（以下「特定商取引法」という。）第33条第1項に規定する連鎖販売取引により行い、その後、遅くとも平成31年1月以降は、本件役務を提供する事業を特定商取引法第2条第1項に規定する訪問販売（以下「訪問販売」という。）により行っていたWILL株式会社（代表取締役中島忠相）（以下「ウィル」という。）、並びに、平成31年3月以降、ウィルの統率の下、ウィルと連携共同して本件役務を提供する事業を訪問販売により行っていたレセプション、株式会社LINK（代表取締役中井良昇）、ホームセキュリティー株式会社（代表取締役小池勝）、株式会社テレメディカル（代表取締役嶋上文子）、株式会社AR（代表取締役杉尾香代子）、株式会社トータル72（代表取締役松本哲）及び株式会社ピーアールピー（代表取締役赤崎達臣）（以下、これらの7法人を併せて「ウィルの関連法人」という。また、ウィル及びウィルの関連法人を併せて「ウィルら」という。）から本件役務を提供する事業を承継して当該事業を行っている。

レセプションは、ビジョンと連携共同して、ホテルのセミナー会場等のレセプション及びビジョンの営業所等以外の場所において、本件役務を有償で提供する契約（以下「本件役務提供契約」という。）の申込みを受け、又は本件役務提供契約を締結していることから、このようなレセプションがビジョンと連携共同して行う本件役務の提供は、訪問販売に該当する。

2 業務停止命令の内容

レセプションは、令和3年3月22日から令和5年3月21日までの間、訪問販売に関する業務のうち、次の業務を停止すること。

ア レセプションが行う訪問販売に関する役務提供契約の締結について勧誘すること。

イ レセプションが行う訪問販売に関する役務提供契約の申込みを受けること。

ウ レセプションが行う訪問販売に関する役務提供契約を締結すること。

3 処分の根拠となる法令の条項

特定商取引法第8条第1項

4 処分の原因となる事実

消費者庁は、レセプションにおいて、以下のとおり、ビジョンと連携共同して、特定商取引法に違反する行為をしており、訪問販売に係る取引の公正及び役務の提供を受ける者の利益が著しく害されるおそれがあると認定した。

(1) 役務の内容についての不実告知（特定商取引法第6条第1項第1号）

レセプションは、遅くとも令和2年6月以降、ビジョンと連携共同して訪問販売に係る本件役務提供契約の締結について勧誘をするに際し、実際には、本件役務を提供する事業をビジョンに継承したビジョンの前身であるウィルは、少なくとも平成27年10月1日から令和元年6月6日までの間、いずれの会計年度においても、その総売上高の約99パーセントを本件商品の販売による売上げが占め、また、ウィルと連携共同して本件役務を提供する事業を行っていたウィルの関連法人は、平成31年3月から令和元年6月6日までの間、本件商品の販売に係る営業業務を行っており、本件商品の運用事業を行っていた事実はないため、ウィルらは、本件商品の賃借料のほとんど全てを本件商品の売上収入から支払っており、ウィルフォン賃貸事業や本件商品の運用事業により得られた収益から本件商品の賃借料を支払っていた事実はないにもかかわらず、「7年前、私どもがこの

ビジネスをやったときに、最初は機械だったの。…ウィルフォンっていう機械を最初作りまして、この機械を作ると同時に、この機械の画面に、色んなサービス、ソフトっていうものを開発して、そのソフトをこの中に入れて、海外のお客様が、この機械ごと、だいたい35ドル前後で、この機械を借りていただいて…借りていただいた方が払ってくれる35ドル、4000円のお金から、2500円のレンタルフィーを日本の皆様方に払うっていうのが、もともと作ったシステムだったんです。…14か国の店を出したんです。これ、ずーっと順調に…、「過去行ってきた事業がしっかりとした事業をやっている、かつ、事業ですから、売上と利益がしっかり上がってくる事業を続けた結果、その会社の売上の中の利益が、皆さんのもとに利益としてもたらされていくから、過去7年間関わった人全ての方が利益を獲得できている。」、「(注：ウィルフォンの)使用料を払っていただいた、1台分3500円の中から、創業当初は、購入いただく商品はライセンスパックではなく、テレビ電話そのものを購入いただいていたわけですから、1セット8台、1台あたり2500円を使用料として我々の会社に入ってくる売上の中から、お支払いをしても、我々の会社にはまだ利益が残ります。受け取る皆さんは利益になります。こんな仕組みから事業を、こつこつこつこつやってきました。」、「世界中の方が、プレイストアから全てのアプリをインストールして使ってくれた。この売上げが、当初のテレビ電話の売上を、はるか超えて、どんどんどんどん上がった。これが、今まで皆さま方に払ったレンタルフィーのこれが、もともとの売上原資になったんです。」などと、あたかも、ビジョン又はビジョンの前身である事業者らにおいて、過去7年間にわたって、継続的にウィルフォン賃貸事業又は本件商品の運用事業により収益を上げ、かかる収益から本件商品の賃借料が支払われていることから、今後、ビジョンとの間で本件役務提供契約を締結した消費者に対しても、本件商品の運用事業による収益から本件商品の賃借料が継続的に支払われるかのように告げている。

(2) 役務の提供を受ける者の判断に影響を及ぼすこととなる重要なものについての不実告知（特定商取引法第6条第1項第7号）

レセプションは、遅くとも令和2年6月以降、ビジョンと連携共同して訪問販売に係る本件役務提供契約について勧誘をするに際し、実際には、①ビジョンが提供する「コロナ感染者追跡アプリ」が、世界保健機関（以下「WHO」という。）が主催し、アフリカ各国の保健大臣及びWHOの「アフリカコロナ対策委員会委員長」が出席して行われたアフリカ全体の新型コロナウイルス感染症対策を検討する会議において、アフリカ全体で正式

に採用された事実はなく、②インターネット通信販売アプリを作っほしいというリベリア政府からの依頼により、当該通信販売アプリでの支払に使うことができる「ヴィカシーコイン」と称する暗号資産（仮想通貨）と法定通貨とを交換する交換所をリベリアに開設し、当該暗号資産を使用して買物ができる、アフリカ西海岸において利用できるものとしては初のインターネット通信販売アプリを作った事実はなく、③ビジョンが提供するビヨンドアイについて、同アプリで再生される動画出演に係る専属契約を芸能人との間で締結した事実及びビヨンドアイで再生される動画にスターボックス社が広告を掲載して広告料を支払っている事実がいずれもなく、④グーグル社は、ビジョンが完成させたとする「Wストア」と称するスマートフォン向けのアプリケーションのプラットフォームについて、グーグル社が「Wストア」の運営者に対し「Wストア」の利用者1名につき一定額の広告料を支払うというグーグルアドセンス契約についての合意をいかなる相手方ともしている事実はないにもかかわらず、ビジョンの提供するアプリが海外の政府、公的な国際機関、世界的に著名な企業及び日本の著名人からも高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、①の「コロナ感染者追跡アプリ」については、「アフリカの方々が、一切合切、コロナ感染者追跡ができるアプリ、正式に私共の会社から、リベリア政府に納品させていただきました。」「アフリカ中の需要国の保健大臣、政務次官、そういった方が全部集まって、アフリカのコロナ感染者拡大をどうして防ぐかっていう会議が、アフリカ全体のそれぞれの国の保健大臣が集まって、話し合いが行われました。その場所にWHOのアフリカ担当コロナ対策委員会委員長もそこに参加して、WHOが主催した会議が行われました。その会議の4番目と2番目が、私共のアプリをアフリカ全体で、採用したらどうだっていう提案だ。」「私共のアプリが、アフリカ全体で、コロナ感染アプリに正式に採用が決定いたしました。」などと、②のヴィカシーコイン及びインターネット通信販売アプリについては、「アフリカの西海岸に、ネット通販がないんだよ。今、日本政府がいてますよ。なるべく、ネット通販で、買物に行かないで、通販で買えるものは通販でそろえましょう。このコロナの時期、ネット通販すごい売れた。それが、ないんだよ。だからリベリアの大統領が、ネット通販のサイトを作っほしい」、「ネット通販を作っくれって、リベリアの大統領が僕に要請なの。」「アフリカの西海岸初の、ネット販売。ショッピングサイトが完成いたしました。」「支払いの仕方は？ヴィカシーコインで販売する。じゃ、ヴィカシーコインを

リベリアの人がたが買うための交換所がなければヴィカシーコインが買えないって言ったら、リベリアの大統領が、あ、交換所、わかったわかった、いい。じゃあお前の交換所作ってあげるから。はい、ライセンス持ってこい。はい、はい、はい、作れ。ほんとだよ。それで、リベリアの交換所ができちゃったの。」などと、③のビヨンドアイについては、「Wストアからビヨンドアイっていうアプリをインストールします。そうすると、ビヨンドアイっていうアプリ、ちょっと1回閉じて、閉じて。このビヨンドアイっていうアプリを立ち上げます。…こういう画面みていただいて。このちなみに右側の子、■（注：芸能人のこと）です。…この方（注：言及している当該芸能人のこと）、うちの専属ナレーターとして今契約しております。ね、この全ての浅草編、秋葉原編、全ての雑誌のナレーターは彼女がやっております。…そこに出ている、様々な内容をうちが撮影して、全て動画で撮っております。それが、様々なページのラウンドアイのマークのところにあてがうと、いろんな店の案内が読まなくても実際動画で見れます。」「32ページ。スターボックスのコマーシャルが出ています。…スターボックスがうちのこの本を出すために、広告料を払ってくれたの。うちは、この本、全て広告費で賄って100万部作ったの。だから、フリーペーパー、自由にお持ち帰りになってくださいっていう本なの。じゃあ、100万人の人が、この本を持ち帰った時に、ビヨンドアイのアプリがインストールできるようになっています。この画面から。…この本に出ている全ての広告、全ての記事、かざすと動画が流れるんです。」などと、④のWストアについては、「うちがAPPストア、プレイストアに続く、3つ目のストアを作りましょう。世界の3つ目のストアを作りましょうって言って、私は立ち上げたのが、Wストアなの。」「2万弱のアプリが、世界中のアプリを作る会社から私共にきています。もうWストア、完成している。これが、世界3つ目のストアになるんです。」「グーグルアドセンスの契約は、グーグルと話は全て決まっております。どういう契約か？うちで、Wストアをインストールしてくれた方。一人に対して、200円の広告料を毎月くれるんです。ここにいる方、100万人の方々が、Wストアを入れてくれると、その方の携帯に入っているアプリ、要は、ストアのアプリが12万種類あります。使う使わない別として、インストールしてくれれば、インストールしてくれた方の数と、一人に200円分、100万人いたら2億円。そのお金を毎月広告費として、グーグルアドセンスそれを運営している責任会社に振り込みますっていう、グーグルとの内容、全てできてます。」などと、あたかも、前記①から④までの各事実があるかのように告げている。

5 勧誘事例

【事例1】（役務の内容及び役務の提供を受ける者の判断に影響を及ぼすこととなる重要なものについての不実告知）

レセプションは、ビジョンと連携共同して、令和2年6月、広島県に所在するホテルにおいてセミナーを開催したところ、当該セミナーにおいて、当該セミナーの参加者に対し、司会者からSHK事務局の局長と紹介された赤崎達臣が「SHKビジネスをプレオープンするというので、会を設けさせていただいておりますが、このコロナの時期でも、やっぱり伸びてる業界があるし、伸びてる会社もございます。」「この通話ツール。これ見ていただきますと、皆さま方ご存知だと思いますが、弊社はもともとテレビ電話を扱ってた会社です。」「弊社に関しましては、他企業に比べまして1歩も2歩も、この通話ツールに関しましては、進んでいる状態で」、「続きましてちょっと見ていただきますので、遠隔医療、遠隔医療に関しましては、ご存知の方も多いと思います。今、遠隔医療が非常に注目を浴びておりますが、弊社の大倉会長に関しましては、4年前から、4年半くらい前からですね、これからは遠隔医療の時代が来るということを見越しまして、様々な準備をしまいいりました。」「次、オンライン教育ですね。」「大倉会長、4年半前から準備を進め、相互関係ができるようなオンライン授業、遠隔授業の仕組みも完成しております。」「会長のほうから後でお話があるかもしれませんが、アフリカのほうで、そういう仕組みを使いたいということで、アフリカの政府の方からの要望がきております。」「このSHKビジネスに関しましては、通信技術を駆使しましてね、会長のほうから後ほどお話があると思いますが、今、申し上げた全てのサービスは、現実として、今、弊社では、もう進んでおります。」「一番重大なことってというのは、この時代だからこそ、ピンチをチャンスに変えて、そして、伸びていく業界、伸びていく産業に縁があるっていうことが、素晴らしいチャンスになっていくんじゃないかと思っております。分かるか分からないかは、皆さま方のセンス次第です。」などと、ビジョン及びビジョンの会長と呼称される大倉満（以下「大倉」という。）が大きな収益を上げることができる事業を行ってきたこと及び大倉が優れた経営者である旨を告げた上で、大倉が、「7年前、私どもがこのビジネスをやったときに、最初は機械だったの。機械をレンタルするっていう仕事だったんです。」「このウィルフォンっていう機械を最初作りまして、この機械を作ると同時に、この機械の画面に、色々なサービス、ソフトっていうものを開発して、そのソフトをこの中に入れて、海外のお客様が、この機械ごと、だいたい35ドル前後で、この機械を借りていただいて、…ここにあるサービスがここでも使えるし、テレビでも使える。

じゃ、どんなサービス、どんなソフトかっていうと、さっきの、一番最初に作ったのが、こん中に入れるカラオケのソフトなの。カラオケって言っても、うちは世界中のカラオケを、30万曲持ってます。」「これを35ドル前後、日本円で3800円から4000円の金額で、海外の方に貸して、借りていただいた方が払ってくれる35ドル、4000円のお金から、2500円のレンタルフィーを日本の皆様方に払うっていうのが、もともと作ったシステムだったんです。それ自体は、何ら問題なく、海外でどんどんどんどん進行して、どんどんどんどんお客さんも増えたんで、世界14か国にそれぞれ店をだして、その店に、お客さんにご来店いただいて、うちの機械を借りてってもらってサービスを使ってもらおう。」「それぞれの方に、クレジットカードとか、そういったシステムをもって、月々払ってもらうっていうために、14か国の店を出したんです。これ、ずーっと順調にあって」「4年半前に、機械を貸すっていうシステムを、ちょっとずつ減らしていったの。なんでかっていうと、スマートフォンの普及がきっかけなんです。」「スマートフォンの中で使えるアプリに切り替えようっていうことで、4年半前にアプリに切り替えた。それが功を奏して、今回のコロナの騒ぎのときに、うちは全く影響受けなかった。」「そうやって、アプリに切り替えた。それから色んなアプリを作った。そしてそのアプリも人気あるアプリっていうのは、世界規模でみると、結構な需要になります。どんどんどんどん作ったアプリを、APPストアっていうストア、ね、プレイストアっていうストア、要は、アプリを売っているストアに登録するわけ。そしてちょっと面白いアプリだと、プレスリリースをして宣伝すると、そのアプリを使う人がガーンと増えるわけ。これはいいな、と思って。ずーっと商売やってたの」などと、あたかも、ビジョン又はビジョンの前身の会社において、過去7年間にわたって、継続的にウィルフォン賃貸事業又は本件商品の運用事業により収益を上げ、かかる収益から本件商品の賃借料が支払われていることから、今後、ビジョンとの間で本件役務提供契約を締結した消費者に対しても、本件商品の運用事業による収益から本件商品の賃借料が継続的に支払われるかのように告げた。

さらに、大倉は、当該セミナーの参加者に対し、ビジョンが提供するアプリが海外の政府から高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、「パンデミックの間、地元市場で買物をしないで、なるべく安全に買物をしてほしい。それが何か。ネット通販なんだよ。ネット通販。ところが、さっき言いましたね。アフリカ人は通帳持ってないの。クレジットカード持ってないの。皆さん、ネット通販でものを買おうと思って、クレジットカード持ってない人どうやっ

て買うの？代引きで買うの？アフリカ西海岸」、「代引きっていう制度がないの、そんなもの。届けにいった金払ってもらえるかどうかわかんないものを、届けに行くバカはいないの。だから、アフリカの西海岸に、ネット通販がないんだよ。今、日本政府がいてますよ。なるべく、ネット通販で、買物に行かないで、通販で買えるものは通販でそろえましょう。このコロナの時期、ネット通販すごい売れた。それが、ないんだよ。だからリベリアの大統領が、ネット通販のサイトを作ってほしい。はい、次。始めましょう。はい、じゃあマーケット。有名なマーケット。」、「はい、ここ押して。」、「こうやって、いいですか、ネット通販を作ってくれて、リベリアの大統領が僕に要請なの。じゃあね、支払いの仕方は？ヴィカシーコインで販売する。じゃ、ヴィカシーコインをリベリアの人がたが買うための交換所がなければヴィカシーコインが買えない。って言ったら、リベリアの大統領が、あ、交換所、わかったわかった、いい。じゃあお前の交換所作ってあげるから。はい、ライセンス持ってこい。はい、はい、はい、作れ。（笑）ほんとだよ。それで、リベリアの交換所ができちゃったの。だから、その交換所にリベリアの人が来て、はい、ヴィカシーくださいって言って、1万円ヴィカシー買えるんだよ。そうすると、ほしい、魚、肉、野菜、ヴィカシーで支払いします。ぽちってやると、確かに入金あって、お金の支払い完了するの。そうすると、肉だ、魚だ野菜が、届けてくれる。西アフリカの、アフリカの西海岸初の、ネット販売。ショッピングサイトが完成いたしました。」、「これ、Wストアにしか入ってないの。だから買物したいアフリカ人は、絶対、Wストアをインストールするの。」、「全くネット通販ない、アフリカっていう市場は、うちが全部取ります。」などと、あたかも、インターネット通信販売アプリを作ってほしいというリベリア政府からの依頼により、当該通信販売アプリでの支払いに使うことができる「ヴィカシーコイン」と称する暗号資産（仮想通貨）と法定通貨とを交換する交換所をリベリアに開設したかのように告げ、また、当該暗号資産を使用して買物ができる、アフリカ西海岸において利用できるものとしては初のインターネット通信販売アプリを作ったかのように告げた。

また、大倉は、ビジョンが提供するアプリが世界的に著名な企業及び日本の著名人から高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、「AR、拡張現実って言います。そこにはないんだけど、あるように見えるもの。そこにはないんだけど、実際にみるとあるように、現実のものと思う。それが拡張現実っていいです。」、「これから皆さんに、世界初、ARの私共の冊子、お配りします。はい、お配りして。」、「うちが、世界で100万部、印刷しております。

英語圏の国には英語をお配りします。フランス語圏の国はフランス語、ドイツにはドイツ語。ブラジルではポルトガル語。そういった国の言語で、全て印刷して、総数100万部。それは何かって言うと、東京オリンピックにくる海外の方々に、日本の名所を案内する雑誌。これ、ただ読む分には普通の雑誌なんです。」「そのアプリ、うち、実は古くからずーっと研究していて、ARに関してのみ言えば、おそらく日本でうちに太刀打ちできる企業はいません。」「ビヨンドアイって言います。そして、皆さんの本の22ページをお開きください。22ページ御覧ください。アメリカ人になったつもりで22ページ御覧ください。」「Wストアからビヨンドアイっていうアプリをインストールします。そうすると、ビヨンドアイっていうアプリ、ちょっと1回閉じて、閉じて。このビヨンドアイっていうアプリを立ち上げます。」などと告げてビヨンドアイのシステムを説明した上で、「このカメラで22ページ目のその、メロンパンのページ、それにビヨンドアイのマークがあります。ビヨンドアイのマークのある写真」、「はい、映してみて。」、「(注：実際にその場で再生された動画の音声が始まる。)」『ここは何が有名ですか？メロンパン』…『big size…』、『じゃ、二つお願いします、いやーおいしそう』、『ありがとうございます 初めてですか』、『yes』、(注：動画の再生終わり。)はい、ストップ。…このちなみに右側の子(注：再生された動画の映像で右側に映っていることを言うもの。)、■(注：芸能人のこと)です。…この方(注：言及している当該芸能人のこと)、うちの専属ナレーターとして今契約しております。ね、この全ての浅草編、秋葉原編、全ての雑誌のナレーターは彼女がやっております。」「要するに、そこに出ている、様々な内容をうちが撮影して、全て動画で撮っております。それが、様々なページのラウンドアイのマークのところにあてがうと、いろんな店の案内が読まなくても実際動画で見れます。そのメロンパンの写真をどれだけみるよりも食べているのを見るのが、一番日本にいったら食べてみたいと思います。分かります？これを拡張現実っていうの。」、「(注：配布した雑誌の)32ページ。スターバックスのコマーシャルが出ています。こうやって見て、スターバックス飲みたいなって思うこともあります。ただ、スターバックス、アメリカではテレビのコマーシャルやってます。」、「これ、スターバックスがうちのこの本を出すために、広告料を払ってくれたの。うちは、この本、全て広告費で賄って100万部作ったの。だからフリーペーパー、自由にお持ち帰りになってくださいっていう本なの。じゃあ、100万人の人が、この本を持ち帰った時に、ビヨンドアイのアプリがインストールできるようになっています。この画面から。まず、Wストアをインストールして、ビヨンドアイをインストールする。」、「(注：配布した雑誌の)最初のほうに戻っていただいて、4ページ目を開けてください。

そこの左側のところに、今、マジックで消してますけど、そのQRコードに本来であれば、皆さんの携帯かざすと、CWAストアがインストールされます。そして、もう一回ここに二回目かざすと今のビヨンドアイがインストールできます。それだけの作業で、この本に出ている全ての広告、全ての記事、かざすと動画が流れるんです。これをAR、拡張現実っていいます。」などと、あたかも、ビヨンドアイで再生される動画出演に係る専属契約を芸能人との間で締結しており、ビヨンドアイで再生される動画にスターボックス社が広告を掲載してビジョンに広告料を支払っているかのように告げた。

また、大倉は、ビジョンが提供するアプリが世界的に著名な企業から高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、「うちがAPPストア、プレイストアに続く、3つ目のストアを作りましょう。世界の3つ目のストアを作りましょうって言って、私は立ち上げたのが、Wストアなの。」「もう、2万弱のアプリが、世界中のアプリを作る会社から私共にきています。もうWストア、完成している。これが、世界3つ目のストアになるんです。」「僕のセミナーに来ると家帰ってご主人に文句を言われ、息子に反対され、息子の嫁に隠れてこそこそとお金を振り込み、振り込まれたコミッションを、息子に見つからないように、振込明細は他人のところに送り、何とかばれずにばれずにばれずに7年間、私のことを支援してくれた方々、その方々になんかのご恩を報いなきゃだめじゃん。」「ここに、この7年間うちに関わってきた方々だけを最初にまず入れましょう。入れるにあたっていいかい？年間費なし。権利金なし。年齢差別なし。顔の造作で良し悪し関係なし。一切なく、とにかく今までうちに関わっていただいて、うちに対して功績あげてくださった方々を、ここに優先的に入れましょう。これを、2020年、3月の末尾までを、一定の区切りとしますと。こうなる予定だったわけだ。そしてね、3月31日、終わらせてるわけ、ここを。全て。そして、いよいよ4月から、4月にね、拡散を開始、世界中にWストアをがーっと広げる、それを4月からスタートするっていうことで、僕は、1月に発表しました。2月にも発表しました。着々と準備は進み、3月31日でこれは全部出来上がった。っていうことは3月の23日、韓国に行くはずだった。韓国。そこで、僕と、韓国のリー社長とグーグルの担当者がアメリカから来て、3社間契約を交わすはずだったの。グーグルは、グーグルアドっていう、グーグルの広告システムにうちが参加するっていう契約書なの。それを作るために、ね。3月の23日に会って、そこで調印して、契約書が出来上がった段階で、4月拡散予定だったの。」「グーグルアドっていうのは、グーグルのもらった広告を、うちのアプリ、Wストアのアプリに載

せるの。そうすると、ここのところをはい、開いてぼちっと。これでうちに1円くるの。1円。100人がやると100円くるの。20億人がみんな一回やってくれと、20億円くるの。だったら暇なやつ」、「そうすると、そうやってやったってことがばれるの。ちゃんとここの広告に興味があって広告開いたひとの分だけ1円くるの。これがね、さっき言った、無料アプリには、全部これがつくの。」、「5月の1日から、この拡散、プレスリリースを発表したところ、僕の予想を超える方々が、CWAストアをインストールしたいって言って言ってきました。」、「もう、世界各国で、10万まで行ってませんけれど、万の個数の方々が、インストールしてくれるようになりました。」、「そして、コロナが終わって、グーグルアドの契約が完了次第、CWAストアが全て、Wストアに変換します。そして、ここまでいった段階で、我々はこっから先、さっき言った、20億人のWストアの、愛用者づくりに入るんです」、「ここに入ってる人。さっきも言いました、年会費なしだよ。登録費用なしだよ。権利金なしだよ。この7年間私と関わってきてくださった方のお礼としてここに入るの。」、「20億人だから。分かった？5兆円から皆さま方にコミッションが払われます。知らないこいつらにも払われるの。」、「全てこいつらもしらないうちに入ってます。その収入が皆さま方の安心であり、安定であり、それをやるための条件はないんだから。何やらなかったらお金もらえないとかくだらないことはないの。」、「いるだけで、毎月々お金がはいってくる。それも、皆様方が万が一のときには、皆様方のお子さん、子孫の方々に、そのまま引き継がれていくっていう夢のポジションなの。分かります？それをSHKシステムと申します。」、「ぜひとも、このSHK、皆様方にとって非常にメリットがあります。コロナが終わって、本格始動するのを今少し、お待ちください。」などと、あたかも、ビジョンが完成させたとする「Wストア」と称するスマートフォン向けのアプリケーションのプラットフォームについて、グーグル社と「Wストア」の運営者との間でグーグルアドセンス契約を締結し、グーグル社が、当該契約に基づいて、「Wストア」の運営者に対し、「Wストア」の利用者1名につき一定額の広告料を支払う旨の合意が成立しているかのように告げた。

【事例2】（役務の内容及び役務の提供を受ける者の判断に影響を及ぼすこととなる重要なものについての不実告知）

レセプションは、ビジョンと連携共同して、令和2年9月、岡山県に所在するホテルにおいてセミナーを開催したところ、当該セミナーにおいて、当該セミナーの参加者に対し、ビジョンの部長と呼称される者が、「もしうちの会社が、購入代金のこのお金だけをただ単に回してる会社だったら、購入者全ての

方に利益を払う。全く成り立たないと思います。じゃあ、この会社がこの7年間成り立ったのはなぜか、それには秘密があるわけです。どんな秘密か。それが、このメーカーであるワールドイノベーションラブオールという会社が、過去行ってきた事業がしっかりとした事業をやっていて、かつ、事業ですから、売上と利益がしっかり上がってくる事業を続けた結果、その会社の売上の中の利益が、皆さんのもとに利益としてもたらされていくから、過去7年間関わった人全ての方が利益を獲得できている。」「事業をスタートしたのは2013年です。我々の会社、まずはこんな事業からスタートしました。じゃーん、こちらにあります。ウィルフォンという商品、ここから我々の事業はスタートしたんです。」「使用料を払っていただいた、1台分3500円の中から、創業当初は、購入いただく商品はライセンスパックではなく、テレビ電話そのものを購入いただいていたわけですから、1セット8台、1台あたり2500円を使用料として我々の会社に入ってくる売上の中から、お支払いをしても、我々の会社にはまだ利益が残ります。受け取る皆さんは利益になります。こんな仕組みから事業を、こつこつこつこつやってきました。」などと告げ、また、大倉が「CCPシステムに、どんどんどんどん入ってこられる会員さんたちに、安定したレンタルフィーをずーっと払い続けるために、例えばサービスのほうを拡充させたりとか、より新しいサービスを作ったりとか、商品作ったりとか、新しい機能を作ったりとか、そういうことをやって、世界中に多くの愛用者を作ることによって、レンタルフィーが安定して払える。そのための様々な開発をしていった過程の中で、新しいビジネスモデルを進めようということになったのが、SHKのビジネスなんです。」「テレビ電話の機能にホームネットワークを足して、IPテレビを足して、ショッピング、カメラ、カラオケを足しました。」「世界14か国18拠点の事務所と店舗、ショールーム全部作って、現地法人つくりまして、現地の社員を雇って、現地の顧問弁護士、現地の顧問公認会計士、全部雇って14か国に進出しました。たった2年のうちに、ここ全部進出したの。」「みんな借りてくれて、日本からどんどんどんどんテレビ電話きても、借りる人が、もう尽きないくらい増えていった。それが最初のね、2年くらいなんです。」「それまであったテレビ電話、ホームネットワーク、ショッピング、カラオケ、こういった機能をスマートフォンで使えるアプリにしなきゃだめなの。」「世界中の方が、プレイストアから全てのアプリをインストールして使ってくれた。この売り上げが、当初のテレビ電話の売上を、はるか超えて、どんどんどんどん上がった。これが、今まで皆さま方に払ったレンタルフィーのこれが、もともとの売上原資になったんです。」などと、あたかも、ビジョン又はビジョンの前身の会社において、過去7年間にわたって、継続的にウィルフォン賃貸事業又は本件商品の運用事業により収

益を上げ、かかる収益から本件商品の賃借料が支払われていることから、今後、ビジョンとの間で本件役務提供契約を締結した消費者に対しても、本件商品の運用事業による収益から本件商品の賃借料が継続的に支払われるかのように告げた。

さらに、大倉は、当該セミナーの参加者に対し、ビジョンが提供するアプリが公的な国際機関から高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、「保健大臣紹介されて、保健大臣から」、「アフリカでコロナ追跡アプリがほしいって言われて、作ってくれていわれたの。だからさっきのココアってアプリを、徹底的に調べました。徹底的に全部洗いました。そして私共ね、これ日本の携帯だから日本でまずけど、次、はじめましょう、はい、これ、アフリカ、リベリアの方々が、全部登録することによって、アフリカの方々が、一切合切、コロナ感染者追跡ができるアプリ、正式に私共の会社から、リベリア政府に納品させていただきました。」、「今、アフリカのコロナって、最悪の状況になっています。だから、さっきのコロナ感染者追跡アプリをうちが作ったんですけど、」、「これらのアプリを使うための会議が行われました。はい、目次、おつきくして。これ、アフリカ中の需要国の保健大臣、政務次官、そういった方が全部集まって、アフリカのコロナ感染者拡大をどうして防ぐかっていう会議が、アフリカ全体のそれぞれの国の保健大臣が集まって、話し合いが行われました。その場所にWHOのアフリカ担当コロナ対策委員会委員長もそこに参加して、WHOが主催した会議が行われました。その会議の4番目と2番目が、私共のアプリをアフリカ全体で、採用したらどうだっていう提案だ。」、「これ、そんなとき、使われた資料です。」、「こうやって、この資料を現場で説明しました。そんな時の写真があります。これ、この人、WHOのコロナ対策委員会の委員長です。ここに座っているのが、大臣若しくは政務次官です。主要国の。ここで説明してる、ここの画面に映ってるのは、皆様に見てもらった資料です。」、「ここで全部説明をして、全部皆さんにご理解いただいて、そして今月の11日、寝てる私の下に、ピロピロピロピロ、ピロピロピロピロメールが飛んできて、何だろうと思って開けてみたら、どん。はい、おつきくして。おつきくになった？メモランダム・オブ・アンダースタンディング。これは覚書って意味です。日本語に訳すと。…はい、ミニスターってというのは、大臣です。これは、大臣が持っている印鑑です。はい、リパブリックオブリベリア。…リベリア共和国の、ミニストリーオブヘルス。保健大臣。正式にね、先ほどの会議を経て、私共のアプリが、アフリカ全体で、コロナ感染アプリに正式に採用が決定いたしました。」、「国民が一人、一人アプリをインストー

ルしてくれたら、うちに、1.5ドルはらってもらいますか？1億人になるまで。ああ、いいですよ。それも合意を得ました。」などと、あたかも、ビジョンが提供する「コロナ感染者追跡アプリ」について、WHOが主催しアフリカ各国の保健大臣及びWHOの「アフリカコロナ対策委員会委員長」が出席して行われたアフリカ全体の新型コロナウイルス感染症対策を検討する会議において、アフリカ全体で正式に採用されたかのように告げた。

また、大倉は、ビジョンが提供するアプリが海外の政府から高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、「アフリカのリベリア政府から頼まれた、リベリアで初めてのネット通販アプリ作ってほしいって言われて、はい、次、はい、次、はじめましょう、ね、フードカテゴリー。魚だ、酒だ、チーズだ、フローズンフーズ、冷凍食品、そういったもの、市場に行かなくても、全部買えるから。市場にくると感染するから来ないでくださいっていう、保健大臣の願いを聞き入れて我々で作ったアプリ。これ自体も、既にリベリア政府に納品してます。」、「世界中、銀行口座を持っていない17億人の方々がこれを、使用料を払うためのアプリとして、使用料を払うための手段として、ウォレットにしてみても。エジソンウォレットというウォレットを作りました。そして、アフリカの方々は最初っから、ここにウォレットが入っております。あとは、これを、うち、アフリカに仮想通貨交換所を作ったの。今回、ライセンスを取りました。」、「世界中で私共の作ったヴィカシーコインというものが、世界の交換所に行っております。」、「自分の国の交換所に自分の持っている現金を持って行って、その分だけヴィカシーコイン下さいって言ったら、携帯電話のアプリの中に、そのコインが入ります。後は、そっから、毎月、このアプリの使用料を払うっていうふうに手続きしてくれれば、我々のほうにはお客さんにはヴィカシーで払われます。それを、私共の交換所で、円に変換します。円に変換したものを皆さま方に払う。この仕組みをうちは、これやるために、仮想通貨すら自らの会社で作って、全ての仕組みが完成いたしました。」などと、あたかも、インターネット通信販売アプリを作ってほしいというリベリア政府からの依頼により、「ヴィカシーコイン」と称する暗号資産（仮想通貨）を使用して買物ができる当該通信販売アプリを作ったかのように告げた。

また、大倉は、ビジョンが提供するアプリが世界的に著名な企業から高く評価されていることからビジョンが大きな利益を上げ続ける可能性が高く、そのため本件役務提供契約を締結した者がビジョンから賃借料の支払を安定して受け続けることができることを強調するため、「プレイストア、APPストアを使わないっていう、新しい形の戦略、これ大事なんです。今まで、テレビ電

話に様々な機能を加えた。そしてスマホになった。テレビ電話をやめてスマートフォンアプリに変えた。今度は、今まで使ってたストアを使わない。じゃあ、どうするのか。全部こっからアプリ抜きました。抜いたアプリどうするのか。これを、Wストアっていうストア、これは私共で作った、うちのストアなんです。」「このストアに、うちが作った12000のアプリと、世界中のアプリを作っている会社で、僕の考え方に呼応してくれた会社のアプリ、全てで12万アプリが入っているストア。これのうち、3年前から構想して、もうできてます。」「世界中の方にWストアをインストールさせるビジネスモデルのことをSHKビジネスって呼びます。それが、今日、皆さんにご説明するビジネスの内容。」「ここに入れるのは（注：「SHKビジネス」や「SHKシステム」などと称するビジネスのメンバーとなること。）、CCPで今までうちに関わってくれた方だけしかここに入れません。CCPの方々が自分の携帯電話に、Wストアをインストールしてくれると、自動的にこの三角形に入ります。なんでか。うちのSHKはCCPの延長線上にできてるから。」「既にCCPの会員となられた方。もしくは、これからCCPの会員として参加される方以外には、ここ（注：「SHKビジネス」や「SHKシステム」などと称するビジネスのメンバーとなること。）に一切、居れません。」「この方々、Wストアをインストールするだけで、一切お金はかかりません。そして、中のアプリケーションを使う必要は一切ございません。ただ、Wストアを入れることによって、ポジショニングが確定するから入れて下さい。あとは、そのストア、触らなくて結構です。触って、なにかアプリが出てきても、何が何だか分からないと思います。だから、インストールしたら、触らずに結構。何も使わずに結構。黙ってお金だけがくるのだけをお待ちになってください。」「グーグルアドセンスの契約は、グーグルと話は全て決まっております。どういう契約か？うちで、Wストアをインストールしてくれた方。一人に対して、2000円の広告料を毎月くれるんです。ここにいる方、100万人の方々が、Wストアを入れてくれると、その方の携帯に入っているアプリ、要は、ストアのアプリが12万種類あります。使う使わない別として、インストールしてくれれば、インストールしてくれた方の数と、一人に2000円分、100万人いたら2億円。そのお金を毎月広告費として、グーグルアドセンスそれを運営している責任会社に振り込みますっていう、グーグルとの内容、全てできてます。これを、僕が3月19日にアメリカに行って、グーグルの本社で、サインする調印式、そこに行けば、もう始まったの。ところがコロナが広がったら、僕が渡米できなくなった。向こうの人間も日本に来れなくなった。一切、アメリカとの行き来ができなくて、最近ようやくロサンゼルスに行けるようになったんだけど、今ロサンゼルスに行けるんだけど、行って帰ってくると、2週間

隔離。2週間隔離されると、何もできないんだよ。なんで、まだ調印式行っていません。これが、コロナがだんだんだんだん終結の目を帯びてきて、そして我々が自由にアメリカに往復できるようになったら僕が行きます。その予定がたったときが、SHKのグランドオープンの時になるんです。なぜか？ここに入ってらっしゃる一銭の金も使わない方々の、アプリを使う分のお金は、グーグルが払ってくれるから。だから、皆さま方の仕事は、Wストアをインストールするだけなの。一切のアプリ使わなくてもいいの。うまいことを考えたでしょう。これにね、グーグルが乗ってきたの。」「私はCCPやり続けたから、こんな収入、入ったよ。というのをご主人の墓前に報告してください。分かっていますか？これが、私が計画したSHKビジネスの成功です。あとは、やるやらないは自由。ただ、これをなされたいと思う方が、日本中に非常に増えています。なんの義務もないですから。なんの義務も。なんの、皆さん方が、お金を払う必要もございません。ぜひともSHKビジネス、スタートするのをお待ちください。」などと、あたかも、ビジョンが完成させたとする「Wストア」と称するスマートフォン向けのアプリケーションのプラットフォームについて、グーグル社と「Wストア」の運営者との間でグーグルアドセンス契約を締結し、グーグル社が、当該契約に基づいて、「Wストア」の運営者に対し、「Wストア」の利用者1名につき一定額の広告料を支払う旨の合意が成立しているかのように告げた。

大倉 満に対する行政処分の概要

1 名宛人

大倉 満（おおくら みつる）（以下「大倉」という。）

2 処分の内容

大倉は、令和3年3月22日から令和5年3月20日までの間、特定商取引に関する法律（以下「特定商取引法」という。）第2条第1項に規定する訪問販売（以下「訪問販売」という。）に関する業務のうち、次の業務を新たに開始すること（当該業務を営む法人の当該業務を担当する役員となることを含む。）を禁止する。

- (1) 訪問販売に関する役務提供契約の締結について勧誘すること。
- (2) 訪問販売に関する役務提供契約の申込みを受けること。
- (3) 訪問販売に関する役務提供契約を締結すること。

3 処分の根拠となる法令の条項

特定商取引法第8条の2第1項

4 処分の原因となる事実

- (1) 別紙1のとおり、VISION株式会社（以下「ビジョン」という。）に対し、特定商取引法第8条第1項の規定に基づき、同社が行う訪問販売に関する業務の一部を停止すべき旨を命じた。
- (2) 大倉は、ビジョンに対し取締役と同等以上の支配力を有するものと認められる者（特定商取引法第8条の2第1項に規定する役員）であり、かつ、同社が停止を命ぜられた業務の遂行に主導的な役割を果たしている。

赤崎 達臣に対する行政処分の概要

1 名宛人

赤崎 達臣（あかさき たつおみ）（以下「赤崎」という。）

2 処分の内容

赤崎は、令和3年3月22日から令和5年3月20日までの間、特定商取引に関する法律（以下「特定商取引法」という。）第2条第1項に規定する訪問販売（以下「訪問販売」という。）に関する業務のうち、次の業務を新たに開始すること（当該業務を営む法人の当該業務を担当する役員となることを含む。）を禁止する。

- (1) 訪問販売に関する役務提供契約の締結について勧誘すること。
- (2) 訪問販売に関する役務提供契約の申込みを受けること。
- (3) 訪問販売に関する役務提供契約を締結すること。

3 処分の根拠となる法令の条項

特定商取引法第8条の2第1項

4 処分の原因となる事実

- (1) 別紙1のとおり、VISION株式会社（以下「ビジョン」という。）に対し、特定商取引法第8条第1項の規定に基づき、同社が行う訪問販売に関する業務の一部を停止すべき旨を命じた。
- (2) 赤崎は、ビジョンに対し取締役と同等以上の支配力を有するものと認められる者（特定商取引法第8条の2第1項に規定する役員）であり、かつ、同社が停止を命ぜられた業務の遂行に主導的な役割を果たしている。